

第5回オンライン研修

地域と共に外国人等高校のキャリアを支援する  
— 外部団体との連携による学校内外の支援 —

一般社団法人kuriya

代表理事 海老原周子

 [contact@kuriya.co](mailto:contact@kuriya.co)

 [www.kuriya.co](http://www.kuriya.co)

# 流れ

はじめに

活動紹介 三者連携による放課後部活動の取り組み

事例紹介 先輩トーク ロールモデルとの出会い

連携における工夫、成果と課題

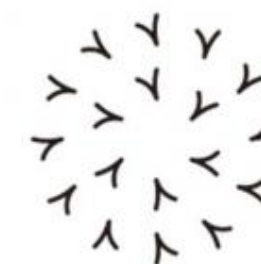
さいごに

## たくさんの可能性を持つ外国ルーツの若者が輝ける社会へ

対 象：16歳～26歳の外国籍等の若者

設 立：2009年より活動開始、2016年に法人化

活動内容：①多文化居場所作り ②多文化キャリア教育 ③政策提言



kuriya

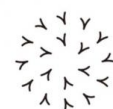
### 活動実績

参加者：約300名（中国、フィリピン、ネパール、ミャンマー、タイ、インドネシア、ブラジル、日本など）

実施地域：東京を中心に、神戸、茨城、愛知の定時制高校、ブラジル人学校、ネパール人学校などで実施

### 代表略歴

慶應義塾大学卒業後、(独)国際交流基金・国連(IOM国際移住機関)で勤務。2009年に外国籍の中高生と地域とをつなぐ多文化理解ワークショップを立ち上げた事をきっかけとして、2016年に一般社団法人kuriyaを設立。外国籍等の高校生のキャリア育成に着手し、定時制高校での居場所づくりを通して、中退防止やキャリア支援に取り組んできた。また、多文化理解教育として、映像や写真を通じた外国籍等の子どもや高校生の表現活動も行なう。東京を中心に、これまで100回のワークショップを実施。



## 事業紹介

### 1. After School 定時制高校での居場所づくり

- ・2015年9月～現在
- ・週1回～3回の放課後部活動として実施
- ・留学生、大学生との多文化交流



### 2. Out of School 実践型インターンシップ

- ・2017年4月～現在
- ・3ヶ月から4ヶ月を1タームとし、週1回参加
- ・団体内でのインターンとしてプロジェクトに携わる

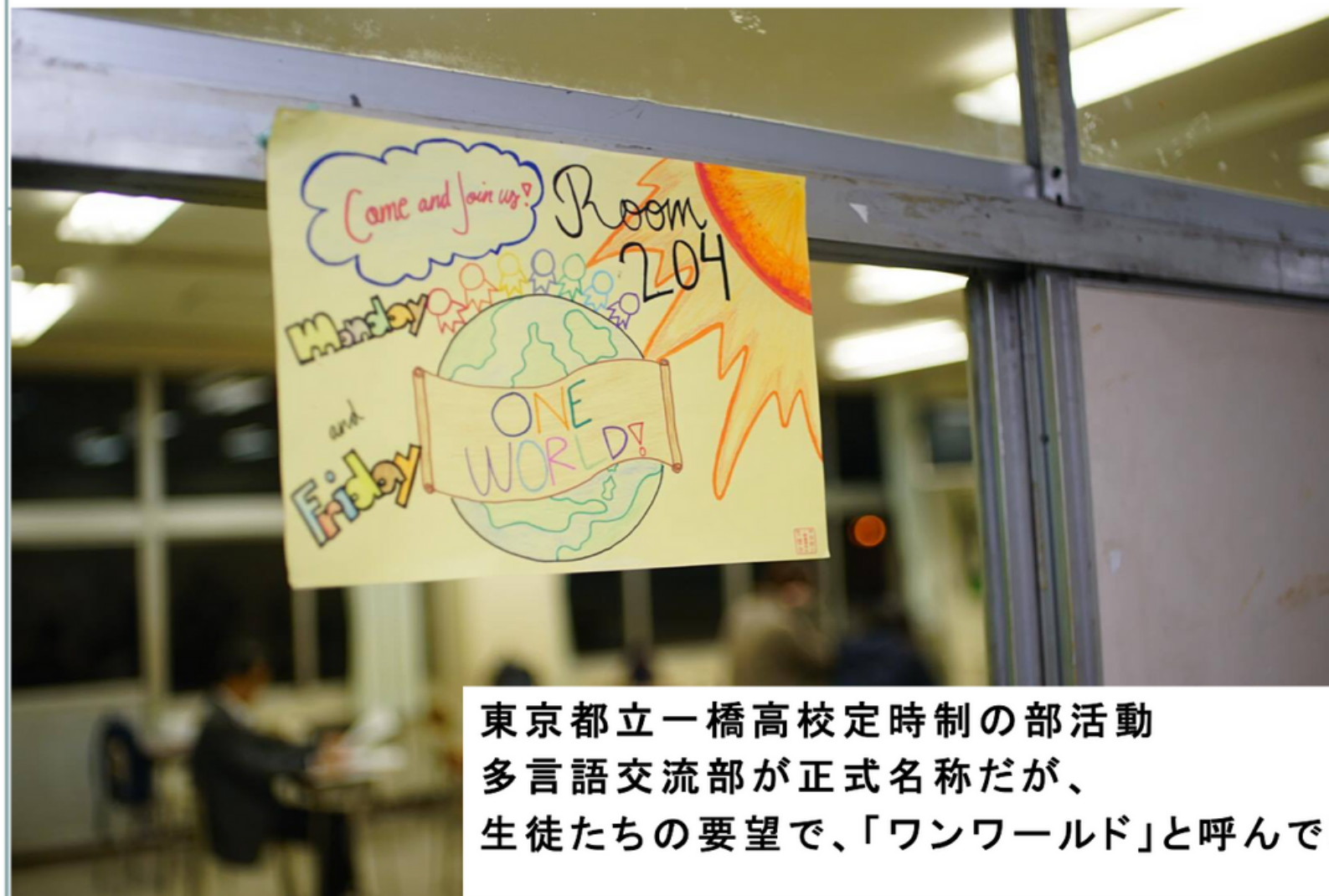


### 3. 政策提言

- ・高校中退や進路の調査を提案 → 高校中退率や非正規雇用の高さが明らかに
- ・高校生のための包括支援体制整備を提案 → 補助事業の一環として実施
- ・在留資格「家族滞在」の資格切替の要件緩和を提案 → 一定要件のもと、切替可能に

# 活動紹介

## 多言語交流部 (One World) について



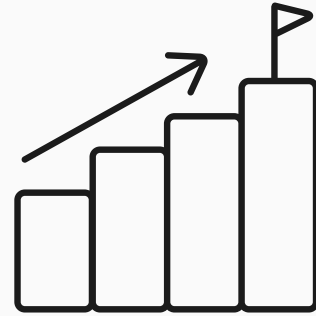
東京都立一橋高校定時制の部活動  
多言語交流部が正式名称だが、  
生徒たちの要望で、「ワンワールド」と呼んでいます。

# 概要

項目	概要
学校	都立定時制高校（三部制・通信制）
生徒	中国、フィリピン、ネパール、インドなど
実施形式	放課後部活動
活動頻度	週1の定期活動と単発プログラム
運営	高校・大学・NPOによる三者連携



## 活動内容



**多言語交流**  
言葉の力を伸ばす



**先輩トーク**  
ロールモデルとの出会い



**居場所づくり**  
仲間との出会い

## 年間スケジュール

多言語・多文化交流  
(週1から2回で通年で実施)

4-6

オープンキャンパス  
(大学生・留学生)

7-9

ワークショップ  
(先輩トーク)

10-12

ワークショップ  
(母語・母文化)

1-3

# 運営 高校・大学・NPOによる三者連携





---

---



**先輩トーク  
ロールモデルとの出会い**



# LifeMapping

## 先輩トーク（ロールモデルとの出会い）

1

ロールモデルと出会う  
大学生・留学生の体験談を聞く



2

高校生も体験談を話す。  
自らの強みを知る。

3

対話を通じて  
自己理解を深め・  
自身をつける



**S**  
**(強み)**

- チャンスを活かしたり、チャレンジを乗り越えるために、自分のどんな強みを発揮したか？

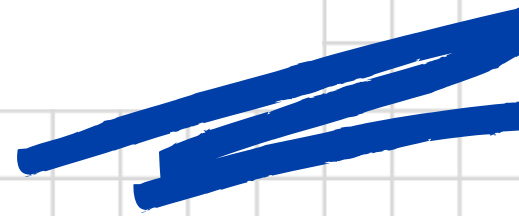
**W**  
**(弱み)**

- チャンスやチャレンジを乗り越える時に、自分の弱みは何か。弱みをどうカバーしたか？

**O**  
**(機会)**

- これまでの経験でチャンスだと感じたことは？

**C**  
**(挑戦)**

- これまでの経験で挑戦やチャレンジお感じたことは？
- 



# LifeMapping

## 先輩トーク（ロールモデルとの出会い）

自らの強み・弱みを知る  
Life Mapping

自らの持つリソースを知る  
Resource Mapping

自らの課題について考える  
Action Planning

強みやリソースを活かして  
課題解決ができるという自信




---

---



# 外部連携における工夫



## 外部連携で意識したこと

- 1 役割分担・・・業務・立ち位置の明確化  
(生徒や先生から見て、何をする人なのか)
- 2 情報共有・・・生徒からの相談は必ず共有 (特に進路)
- 3 協働作業・・・共に考え.対話の場を設ける。(とにかく顔を合わせる)

---

---



# 外部連携による成果と更なるニーズ



# 成果

## 生徒

- ・ 活躍の場→自己肯定感・自己効力感
- ・ 成功体験と言葉の力→面談や入試対策
- ・ 部員は全員進路決定

## 教員

- ・ 日常とは異なる生徒の側面を発見
- ・ 生徒に対する見方の変容
- ・ 多様な大人との関わり合い

## サポーター

- ・ 生徒からエンパワメントされた
- ・ 生徒に対する味方の変容
- ・ 留学生の中には、進路変更をした生徒も



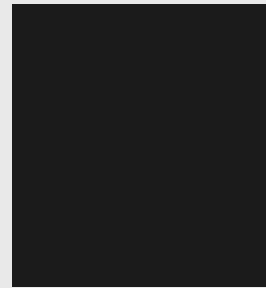
# 改善点・更なるニーズ

## 改善点

- 1 日本語指導との連携
- 2 管理職との関係性づくり

## 更なるニーズ

- 1 在留資格の壁・・・弁護士との連携
- 2 進学 of 壁・・・スクールソーシャルワーカーとの連携



# さいごに

外部連携だからこそ、できたこと



---

---

**THANK YOU!**

**ありがとうございました!**

ご質問やご相談などありましたら、  
お気軽にお問い合わせください!